

### Ⅲ 保健課



# 1 人口動態

## (1) 調査の概要

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の5種類の「人口動態事象」について、その実態を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得るために、「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」による届書に基づいて作成された人口動態調査票を、厚生労働省で集計したものである。

## (2) 調査の期間及び対象

本資料では、日本国内で発生した日本人に関する事件で、令和3年1月1日から同年12月31日までに発生したものを集計し、掲載している。

## (3) 用語の説明

自然増加：出産数から死亡数を減じたもの

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

## (4) 率の計算

出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対、死因別死亡率は人口10万対である。

全国・和歌山県：総務省統計局「令和3年10月1日現在推計人口（日本人）」

保健所・市町村：和歌山県調査統計課「和歌山県の推計人口（令和3年10月1日現在）」を用いる。

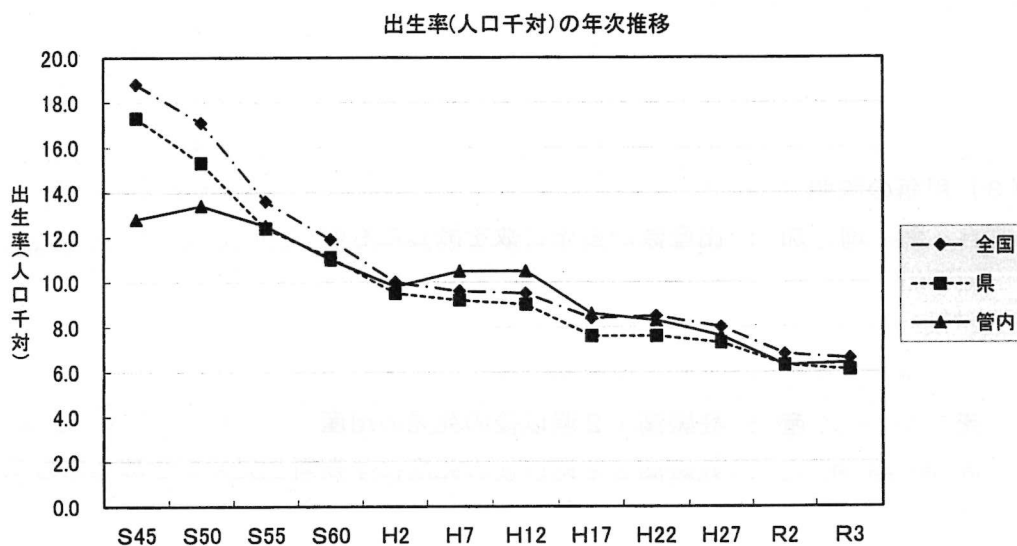
## (5) 令和3年人口動態（全国・県・管内）

	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児 死亡率 (出生千対)	新生児 死亡率 (出生千対)	死産率 (出産千対)	周産期 死亡率 (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)
全国	6.6	11.7	1.7	0.8	19.7	3.4	4.1	1.5
県	6.1	14.3	2.7	0.7	16.2	2.2	3.6	1.6
管内	6.4	10.9	2.8	—	19.2	4.2	3.5	1.7

### (6) 出生率(人口千対)の年次推移(全国・県・管内)

全国、県は低下し管内は微増しており、県、管内とも全国に比較して低率である。

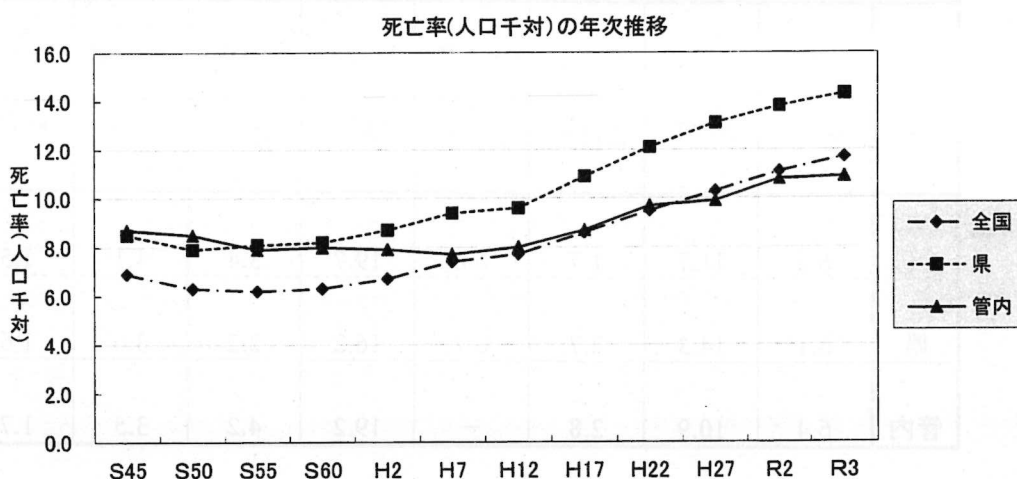
	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R3
全国	18.8	17.1	13.6	11.9	10.0	9.6	9.5	8.4	8.5	8.0	6.8	6.6
県	17.3	15.3	12.4	11.1	9.5	9.2	9.0	7.6	7.6	7.3	6.3	6.1
管内	12.8	13.4	12.5	11.0	9.8	10.5	10.5	8.6	8.3	7.6	6.3	6.4



### (7) 死亡率(人口千対)の年次推移(全国・県・管内)

全国、和歌山県、管内ともに死亡率は上昇しており、和歌山県は全国と比較しても高率である。

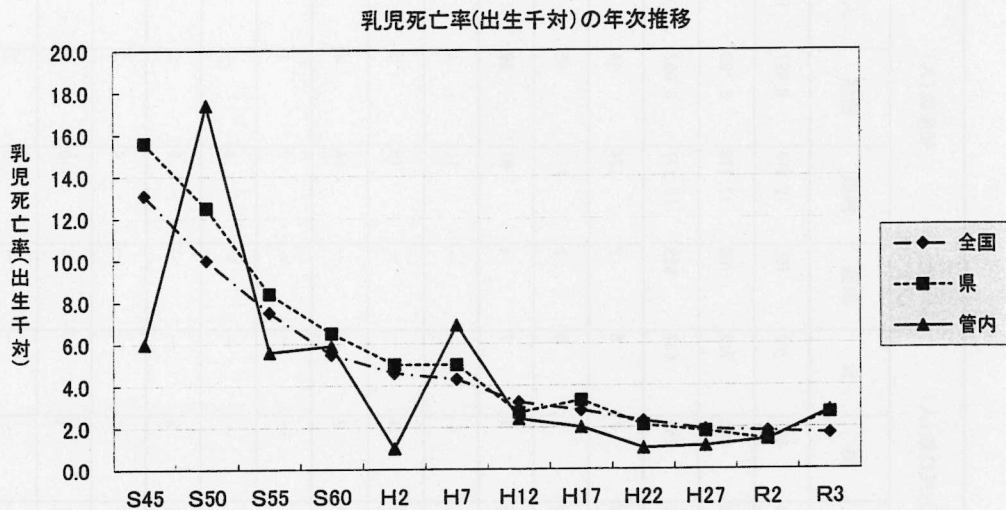
	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R3
全国	6.9	6.3	6.2	6.3	6.7	7.4	7.7	8.6	9.5	10.3	11.1	11.7
県	8.5	7.9	8.1	8.2	8.7	9.4	9.6	10.9	12.1	13.1	13.8	14.3
管内	8.7	8.5	7.9	8.0	7.9	7.7	8.0	8.7	9.7	9.9	10.8	10.9



(8) 乳児死亡率(出生千対)の年次推移(全国・県・管内)

全国は低下し、県・管内は上昇しており、県、管内とも全国に比較して高率である。

	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R3
全国	13.1	10.0	7.5	5.5	4.6	4.3	3.2	2.8	2.3	1.9	1.8	1.7
県	15.6	12.5	8.4	6.5	5.0	5.0	2.7	3.3	2.1	1.8	1.4	2.7
管内	6.0	17.4	5.6	5.9	1.0	6.9	2.4	2.0	1.0	1.1	1.4	2.8



(9) 令和元年・2年・3年 人口動態の年次推移 (総覧)

	人口(人)		出生数(人)			死亡数(人)			乳児死亡数(人)			新生児死亡数(人)			死産数(人)			周産期死亡数(人)			婚姻 件数 (件)	離婚 件数 (件)
	R1	R2	R3	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	自然	人工	総数	妊婦満22 週以後の 死産数	早期新生 児死亡数				
																			総数	男		
全国	123,731,176	123,398,962	122,780,000	865,239	443,430	421,809	1,381,093	707,421	673,672	1,654	892	762	755	19,614	8,997	10,457	2,955	2,377	578	599,007	208,497	
県				840,835	430,713	410,122	1,372,755	706,834	665,921	1,512	800	712	704	17,278	8,188	9,090	2,664	2,112	552	525,507	193,253	
R3	122,780,000			811,622	415,903	395,719	1,439,856	738,141	701,715	1,399	762	637	658	16,277	8,082	8,195	2,741	2,235	506	501,138	184,384	
R1	918,000			5,869	3,030	2,839	12,837	6,374	6,463	7	1	6	2	124	44	80	14	13	1	3,860	1,595	
R2	916,179			5,732	2,933	2,799	12,610	6,242	6,368	8	3	5	2	111	45	66	20	18	2	3,527	1,529	
R3	907,000			5,514	2,854	2,660	12,930	6,490	6,440	15	8	7	4	91	39	52	12	9	3	3,264	1,442	
R1	112,774			743	390	357	1,271	644	627	-	-	-	-	11	4	7	2	2	-	473	232	
R2	111,959			701	373	328	1,205	619	586	1	1	-	-	16	5	11	1	1	-	433	240	
R3	112,382			715	383	332	1,222	641	581	2	2	-	-	14	4	10	3	3	-	395	196	
R1	59,208			332	168	164	830	415	415	-	-	-	-	7	1	6	1	1	-	228	117	
R2	58,405			290	151	139	782	396	386	-	-	-	-	6	-	6	-	-	-	196	104	
R3	58,269			311	179	132	762	388	374	2	2	-	-	9	2	7	1	1	-	181	88	
R1	53,566			411	222	189	441	229	212	-	-	-	-	4	3	1	1	1	-	245	115	
R2	53,554			411	222	189	423	223	200	1	1	-	-	10	5	5	1	1	-	237	136	
R3	54,113			404	204	200	460	253	207	-	-	-	-	5	2	3	2	2	-	214	108	

(10-1) 令和元年・2年・3年 死因別死亡数(総覧)

	全国			県			管内			紀の川市			岩出市		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
全死因	1,381,093	1,372,755	1,439,856	12,837	12,610	12,930	1,271	1,205	1,222	830	782	762	441	423	460
結核	2,087	1,909	1,845	20	17	11	2	2	2	2	2	-	-	-	2
悪性新生物	376,425	378,385	381,505	3,305	3,296	3,297	332	324	305	203	196	179	129	128	126
糖尿病	13,846	13,902	14,356	111	89	113	20	9	12	14	9	8	6	4	4
高血圧性疾患	9,549	10,003	10,223	52	58	60	1	3	5	-	3	2	1	2	3
心疾患	207,714	205,596	214,710	2,278	2,094	2,080	205	206	189	139	206	118	66	73	71
脳血管疾患	106,552	102,978	104,595	795	808	774	74	78	78	50	78	52	24	27	26
大動脈瘤及び解離	18,830	18,795	19,351	144	159	166	19	13	21	11	10	14	8	3	7
肺炎	95,518	78,450	73,194	996	812	713	78	63	45	49	46	36	29	17	9
慢性閉塞性肺疾患	17,836	16,125	16,384	195	164	148	18	16	19	12	9	11	6	7	8
喘息	1,481	1,158	1,038	16	11	8	2	1	1	1	1	-	1	-	1
肝疾患	17,273	17,688	18,017	136	162	142	14	17	16	8	8	10	6	9	6
腎不全	26,644	26,948	28,688	298	288	290	25	28	30	17	16	21	8	12	9
老衰	1,357	132,440	152,027	1,357	1,476	1,620	166	139	162	117	100	103	49	39	59
不慮の事故	399	38,133	38,355	399	357	428	44	24	26	31	19	13	13	5	13
自殺	160	20,243	20,291	160	151	186	14	21	23	9	14	12	5	7	11
その他の死因	2,575	310,002	345,277	2,575	2,668	2,894	257	261	288	167	171	183	90	90	105

(10-2) 令和元年・2年・3年 死因別死亡率(人口10万対)

	全国			県			管内			紀の川市			岩出市		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
全死因	1,116.2	1,112.5	1,172.7	1,398.4	1,376.4	1,425.6	1,127.0	1,076.3	1,087.4	1,407.8	1,338.9	1,307.7	823.3	789.9	850.1
結核	1.7	1.5	1.5	2.2	1.5	1.2	1.8	1.8	1.8	3.4	3.4	-	-	-	3.7
悪性新生物	304.2	306.6	310.7	360.0	306.6	363.5	294.4	289.4	271.4	342.9	335.6	307.2	240.8	239.0	232.8
糖尿病	11.2	11.3	11.7	12.1	9.7	12.5	17.7	8.0	10.7	23.6	8.6	13.7	11.2	7.5	7.4
高血圧性疾患	7.7	8.1	8.3	5.7	6.3	6.6	0.9	2.7	4.4	-	1.7	3.4	1.9	3.7	5.5
心疾患	167.9	166.6	174.9	248.1	228.6	229.3	181.8	184.0	168.2	234.8	227.7	202.5	123.2	136.3	131.2
脳血管疾患	86.1	83.5	85.2	86.6	88.2	85.3	65.6	69.7	69.4	84.4	87.3	89.2	44.8	50.4	48.0
大動脈瘤及び解離	15.2	15.2	15.8	15.7	17.4	18.3	16.8	11.6	18.7	18.6	17.1	24.0	14.9	5.6	12.9
肺炎	77.2	63.6	59.6	110.2	88.6	78.6	69.2	56.3	40.0	82.8	78.8	61.8	54.1	31.7	16.6
慢性閉塞性肺疾患	14.4	13.1	13.3	17.4	17.9	16.3	16.0	14.3	16.9	20.3	15.4	18.9	11.2	13.1	14.8
喘息	1.2	0.9	0.8	1.4	1.2	0.9	1.8	0.9	0.9	1.7	1.7	-	1.9	0.0	1.8
肝疾患	14.0	14.3	14.7	15.2	17.7	15.7	12.4	15.2	14.2	13.5	13.7	17.2	11.2	16.8	11.1
腎不全	21.5	21.8	23.4	29.5	31.4	32.0	22.2	25.0	26.7	28.7	27.4	36.0	14.9	22.4	16.6
老衰	98.5	107.3	123.8	124.5	161.1	178.6	147.2	124.2	144.2	197.6	171.2	176.8	91.5	72.8	109.0
不慮の事故	31.7	30.9	31.2	33.4	39.0	47.2	39.0	21.4	23.1	52.4	32.5	22.3	24.3	9.3	24.0
自殺	15.7	16.4	16.5	17.4	16.5	20.5	12.4	18.8	20.5	15.2	24.0	20.6	9.3	13.1	20.3
その他の死因	248.0	251.2	281.2	244.2	291.2	319.1	227.9	233.1	256.3	282.1	292.8	314.1	168.0	168.1	194.0

(11-1) 令和元年・2年・3年 悪性新生物による部位別死亡数(総覧)

	全国			県			管内			紀の川市			岩出市		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
総数	376,425	378,385	381,505	3,305	3,296	3,297	332	324	305	203	196	179	129	128	126
食道	11,619	10,981	10,958	94	86	105	7	7	6	6	4	3	1	3	3
胃	42,931	42,319	41,624	411	356	401	38	34	28	24	21	17	14	13	11
結腸	35,599	36,204	36,773	308	296	309	35	29	32	13	19	17	22	10	15
直腸等	15,821	15,584	15,645	117	136	127	7	10	11	3	5	8	4	5	3
肝等	25,264	24,839	24,102	256	248	244	25	23	25	14	12	12	11	11	13
胆のう等	17,924	17,773	18,172	147	153	153	16	15	9	11	11	8	5	4	1
膵	36,356	37,677	38,579	295	329	314	22	36	35	17	23	24	5	13	11
気管・肺	75,394	75,585	76,212	714	724	695	69	81	78	45	51	44	24	30	34
乳房	14,935	14,650	14,803	123	119	106	11	9	10	9	3	7	2	6	3
子宮	6,804	6,808	6,818	52	59	59	5	2	5	2	1	2	3	1	3
白血病	8,839	8,983	9,124	70	70	75	6	6	8	2	3	6	4	3	2
その他	84,939	86,982	88,695	718	720	709	91	72	58	57	43	31	34	29	27

(11-2) 令和元年・2年・3年 悪性新生物による部位別死亡率(人口10万対)

	全国			県			管内			紀の川市			岩出市		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
総数	304.2	306.6	310.7	360.0	359.8	363.5	294.4	289.4	271.4	342.9	335.6	307.2	240.8	239.0	232.8
食道	9.4	8.9	8.9	10.2	9.4	11.6	6.2	6.3	5.3	10.1	6.8	5.1	1.9	5.6	5.5
胃	34.7	34.3	33.9	44.8	38.9	44.2	33.7	30.4	24.9	40.5	36.0	29.2	26.1	24.3	20.3
結腸	28.8	29.3	30.0	33.6	32.3	34.1	31.0	25.9	28.5	22.0	32.5	29.2	41.1	18.7	27.7
直腸等	12.8	12.6	12.7	12.7	14.8	14.0	6.2	8.9	9.8	5.1	8.6	13.7	7.5	9.3	5.5
肝等	20.4	20.1	19.6	27.9	27.1	26.9	22.2	20.5	22.2	23.6	20.5	20.6	20.5	20.5	24.0
胆のう等	14.5	14.4	14.8	16.0	16.7	16.9	14.2	13.4	8.0	18.6	18.8	13.7	9.3	7.5	1.8
膵	29.4	30.5	31.4	32.1	35.9	34.6	19.5	32.2	31.1	28.7	39.4	41.2	9.3	24.3	20.3
気管・肺	60.9	61.3	62.1	77.8	79.0	76.6	61.2	72.3	69.4	76.0	87.3	75.5	44.8	56.0	62.8
乳房	23.4	23.1	23.5	25.1	24.6	22.1	18.6	15.4	17.0	28.8	9.7	22.8	7.2	21.6	10.7
子宮	10.7	10.7	10.8	10.6	12.2	12.3	8.5	3.4	8.5	6.4	3.2	6.5	10.8	3.6	10.7
白血病	7.1	7.3	7.4	7.6	7.6	8.3	5.3	5.4	7.1	3.4	5.1	10.3	7.5	5.6	3.7
その他	68.6	70.5	72.2	78.2	78.6	78.2	80.7	64.3	51.6	96.3	73.6	53.2	63.5	54.2	49.9



## 2 医療機関の状況

管内の医療機関数は、病院8か所、医科診療所109か所、歯科診療所48か所及び助産所4か所となっている。

救急医療体制については、那賀休日急患診療所経営事務組合が昭和49年9月、那賀郡6町で設置された。昭和57年3月に紀の川市東大井350に診療所を移転、さらに令和3年9月に現在の所在地（東大井366-1）に改築・移転して那賀医師会休日急患診療所として初期救急に対応している。加えて、二次救急医療体制の充実を図るため、平成11年から5病院、平成30年4月からは6病院による病院群輪番制が行われている。県としても、管内5病院を救急病院として告示している。

また、(財)和歌山県救急医療情報センターが救急医療情報システムを運用しており、科目ごとの診療可否、手術可否、男女別空床数などの情報を県内の医療施設から集め、住民からの電話照会や消防本部における救急搬送に際し、迅速に情報提供を行っている。

### 病院・診療所数

(令和5年4月1日現在)

市名称	病院	医科診療所										歯科診療所	助産所
		内科	小児科	外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	精神科	計		
紀の川市	4	40	4	8	2	3	3	2	1	0	63	27	1
岩出市	4	20	4	8	1	3	3	2	3	2	46	21	3
計	8	60	8	16	3	6	6	4	4	2	109	48	4

### 病院等の病床数

(令和5年4月1日現在)

病院名	一般	療養	精神	感染	計	開設者
公立那賀病院	300	—	—	4	304	一部事務組合
稲穂会病院	—	24	—	—	24	医療法人
名手病院	58	46	—	—	104	医療法人
貴志川リハビリテーション病院	60	108	—	—	168	社会医療法人
つくし医療・福祉センター	136	—	—	—	136	社会福祉法人
紀の川病院	—	—	218	—	218	医療法人
富田病院	47	54	—	—	101	医療法人
殿田胃腸肛門病院	59	—	—	—	59	医療法人
有床診療所(5施設)	88	6	—	—	94	医療法人・個人
計	748	238	218	4	1,208	

\* つくし医療・福祉センター136床は重度心身障害児用病床であるため、医療計画上の既存病床数にはカウントしない。

(医療法施行規則第30条の3第1項)

(参考) 那賀保健医療圏の基準病床数(一般病床及び療養病床)は825床(平成30年3月策定「和歌山県保健医療計画」)

### 3 感染症予防

平成11年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」が施行され、従来の伝染病予防法、性病予防法及びエイズ予防法が廃止された。

感染症の発生予防及びその蔓延を防止するための施策は、保健医療を取り巻く環境の変化、国際交流の進展等に即応し、新たな感染症に迅速かつ的確に対応することができ、感染症の患者等がおかれている状況を深く認識し、これらの者の人権に配慮しつつ、総合的かつ計画的に推進されることを基本理念としている。

感染症は今般の新型コロナウイルスのように広域的、危機的な発生に対応する場合や、ノロウイルス感染症の様に感染が限局されるケース等多岐にわたるため、当保健所においても各感染症の普及啓発、発生時の体制整備等を行っている。

#### (1) 感染症発生状況

##### ア 法定届出分（医師からの全数報告）

(人)

病名 年次	三類感染症	四類感染症		
	腸管出血性 大腸菌感染症	日本紅斑熱	つつがむし病	レジオネラ症
R2年度	0	6	1	0
R3年度	1	4	0	6
R4年度	2	2	0	1

病名 年次	五類感染症					新型インフルエンザ等 感染症
	風疹	梅毒	劇症型 溶血性 レンサ 球菌 感染症	百日咳	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症	新型コロナウイルス 感染症
R2年度	0	4	0	2	0	173
R3年度	0	3	2	0	0	3,319
R4年度	1	5	1	0	1	28,848※

※R4.9.26以降は陽性者登録件数を計上

##### イ 法定届出分（獣医師からの全数報告）

令和4年度に届出はなかった。

なお、令和2年12月に鳥インフルエンザ(H5N8)が発生した。

##### ウ ノロウイルス等による集団感染事例

令和4年度は集団発生の報告が1施設あり、現地調査を実施するとともに感染拡大防止に努めた。

(2) 保菌者検索実施状況

感染症予防のため依頼を受けて、赤痢・サルモネラ・O157等の細菌培養検査を実施した。

区分 年次	有 料		無 料 (接触者)	合 計
	食品、給食及び 水道関係従事者	そ の 他		
R2年度	188	0	0	188
R3年度	137	0	1(0)	138
R4年度	83	0	4	87

※ 無料は感染症発生時の法に基づく接触者健診。( )内は陽性者数。

(3) 感染症関係研修・講義・訓練

令和4年度は感染症予防に関する研修会を一般住民に1回延べ21名に実施した。

4 肝炎治療医療費助成

平成20年度から核酸アナログ製剤治療(B型肝炎)、インターフェロン治療(B型及びC型肝炎)に対する標記助成が開始され、平成26年度からはインターフェロンフリー治療(C型肝炎)も対象医療に追加され、医療費の一部助成を行っている。平成20年度119名、21年度48名、22年度88名、23年度68名、24年度81名、25年度100名、26年度142名、27年度235名、28年度178名、29年度124名、30年度125名、令和元年度121名、令和2年度118名、令和3年度132名、令和4年度104名の申請を受理した。

5 エイズ対策

後天性免疫不全症候群(エイズ)は、感染症法で5類感染症に位置づけられており、診断した医師は7日以内に保健所に届けるよう規定されている。エイズ相談・HIV抗体検査を実施するとともにエイズ予防の普及啓発に努めている。

(1) エイズ相談及び血液検査

エイズに関する相談については随時、また検査については毎月第1・3の火曜日に実施している通常検査と合わせ、平成18年度から即日検査を実施している。近年UNAIDS(国連合同エイズ計画)においては、検査を「感染予防の働きかけを行い、その後のリスクを減らす機会」ととらえていることから、当保健所でも検査前後の相談指導を充実して行っている。

・エイズ相談及びHIV抗体検査 (件)

区 分 年 次	相 談 件 数	H I V 抗 体 検 査			
		通常検査	即日検査	合計	(陽性数)
R2年度	0	13	26	39	0
R3年度	0	9	17	26	0
R4年度	0	10	18	28	0

(2) エイズ予防に関する啓発実施状況

わが国におけるH I V感染者・エイズ患者の新規報告数はほぼ横ばいであり、診断時には既にエイズを発症している事例が多い。これは、H I Vやエイズに対する関心の低さから、早期発見のための検査の機会を逸していることによるものと考えられる。そこで、様々な機会をとらえて啓発活動を実施している。

ア 思春期対象事業

令和2年度は中高生を対象に291名にエイズ及び性感染症の感染予防等についての健康教育を行った。令和3年度は高校生282名、令和4年度は高校生274名に実施した。

イ 街頭啓発

例年、世界エイズデーに合わせて、管内商業施設にて街頭啓発を実施しているが、令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症予防を考慮し、実施しなかった。

6 感染症発生動向調査事業

感染症法に規定された疾患の患者の発生動向を調査集計し、和歌山県感染症情報センターのホームページ等により住民等に対し情報提供をしている。保健所では小児科等医療機関、市（保育担当課、保健衛生担当課、教育委員会）及び幼稚園等に、発生状況の「警報」や注意すべき感染症についての情報を提供している。

(1) 定点からの報告疾病及び定点数

対象疾患	週 報			月 報	
	インフルエンザ定点	小児科定点	基幹定点	STD定点	基幹定点
	1 疾患	1 1 疾患	5 疾患	4 疾患	3 疾患
主たる疾患名	○インフルエンザ	○RSウイルス感染症 ○咽頭結膜熱 ○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ○感染性胃腸炎	○細菌性髄膜炎 ○無菌性髄膜炎 ○マイコプラズマ肺炎 ○クラミジア肺炎 ○感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）	○性器クラミジア ○性器ヘルペスウイルス感染症 ○尖形コンジローム ○淋菌感染症	○メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 ○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 ○薬剤耐性緑膿菌感染症
定点数	6	4	1	1	1

※定点数とは報告を依頼している医療機関数

(2) インフルエンザ及び小児科疾病報告数 (件)

	令和2年	令和3年	令和4年
インフルエンザ	491	—	15
RSウイルス	51	358	219
咽頭結膜熱	32	12	25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	96	47	13
感染性胃腸炎	237	201	601
水痘	25	15	11
手足口病	2	58	89
伝染性紅斑	21	1	4
突発性発疹	93	82	112
ヘルパンギーナ	11	26	10
流行性耳下腺炎	7	1	1

(3) 性感染症報告数 (件)

	令和2年	令和3年	令和4年
性器クラミジア感染症	26	10	8
性器ヘルペスウイルス感染症	10	26	22
尖形コンジローム	1	2	1
淋菌感染症	1	5	5

※ (2) 及び (3) は感染症サーベイランスシステム (NESID) から抜粋

なお、令和2年は令和3年10月30日、令和3年は令和4年10月8日、令和4年は令和5年3月18日作成のものを用いた。

## 7 結核予防対策

結核の現状は、罹患率及び患者数ともに年々減少しており、2021年（令和2年中）の新登録患者数は11,519人、罹患率も9.2と過去最低を更新した。しかしながら結核は現在でも年間1,150人が死亡する主要な感染症であり、引き続き着実な対策が求められている感染症である。

近年では、結核患者に占める高齢者の割合が3分の2にのぼっており、90歳以上での増加も認められ、合併症と同時に加療する必要があり治療が長期化するなど患者の背景が複雑化している。また、外国人の結核患者の増加傾向が続いており、とくに若年層において顕著となっている。

令和4年中の当所管内の新規登録患者数（活動性結核）は7人で、罹患率（人口10万対）は6.3（全国9.2、令和3年数値）、すべての患者が65歳以上の高齢者であった。また、年末現在の登録患者総数は17人で、うち、活動性全結核患者数（治療中）は4人、管内の有病率は3.6（全国6.2令和2年数値）となっている。

### (1) 結核健康診断等実施状況

過去5年間、当所で実施した結核健康診断の状況は下表のとおりである。

平成26年度末までは、民間で実施困難な施設入所者及びデイサービス利用者で歩行困難者や寝たきり者を対象とした健診を保健所実施していたが、平成27年度から和歌山県民総合健診センター（リフト付検診車による健診）に完全移行している。よって、一般住民、事業所、施設の数字は0となる。

区分	年度	直接撮影				発見患者数			
		H31・R1	R2	R3	R4	H31・R1	R2	R3	R4
対象者									
一般住民		0	0	0	0				
事業所		0	0	0	0				
施設		0	0	0	0				
患者家族		34	5	13	2				
接触者		16	13	28	5				
登録患者の精密検査		25	6	6	2				
クリニック		49	13	9	2				
合計		124	37	56	11	0	0	0	0

なお、一般住民健診の過去5年間における管内各市別の実施状況は次のとおりである。

### (2) 結核患者接触者健康診断状況

#### 一般住民健診市別受診状況

年度	市名	推計人口 (A) 人	対象者 (B) 人	人口比 (B)/(A) %	受診者 (C) 人	受診率 (C)/(B) %	健診結果			
							発見患者 (D) 人	患者発見率 (D)/(C) %	発病のおそれがあると診断された者 (E) 人	発病のおそれがあると診断された者の発見率 (E)/(C) %
H30	紀の川市	59,989	19,735	32.9	3,932	19.9	0	0.00	0	0.00
	岩出市	53,453	11,890	22.2	2,877	24.2	0	0.00	0	0.00
	小計	113,442	31,625	27.9	6,809	21.5	0	0.00	0	0.00
	和歌山県	944,889	307,043	32.5		0.0				
H31・R1	紀の川市	59,208	19,782	33.4	2,663	13.5	0	0.00	0	0.00
	岩出市	53,566	12,096	22.6	5,111	42.3	0	0.00	0	0.00
	小計	112,774	31,878	28.3	7,774	24.4	0	0.00	0	0.00
	和歌山県	923,721	308,220	33.4		0.0				
R2	紀の川市	59,557	19,930	33.5	2,792	14.0	0	0.00	0	0.00
	岩出市	53,515	12,382	23.1	4,921	39.7	0	0.00	0	0.00
	小計	113,072	32,312	28.6	7,713	23.9	0	0.00	0	0.00
	和歌山県	917,252	308,961	33.7		0.0				
R3	紀の川市	58,269	19,930	34.2	3,806	19.1	0	0.00	0	0.00
	岩出市	54,113	12,382	22.9	2,935	23.7	0	0.00	0	0.00
	小計	112,382	32,312	28.8	6,741	20.9	0	0.00	0	0.00
	和歌山県	913,523	308,961	33.8		0.0				
R4	紀の川市	57,716	19,930	34.5	4,125	20.7	0	0.00	0	0.00
	岩出市	54,278	12,382	22.8	2,966	24.0	0	0.00	0	0.00
	小計	111,994	32,312	28.9	7,091	21.9	0	0.00	0	0.00
	和歌山県	903,172	308,961	34.2		0.0				

※ 各年の推計人口 (A) は、10月1日現在の数値を用いた。(県人口は、H26年以前は和歌山市を除いた数値)

※ 対象者数 (B) は、令和3年1月1日現在、県の高齢化状況参考(県庁長寿社会課資料)。

感染症法に基づく結核の接触者健康診断の手引き（厚生労働科学研究（新興・再興感染症研究事業）「効果的な結核対策に関する研究班」）に基づき患者家族、接触者に対して、健診を実施している。全年齢対象に「全血インターフェロノン応答測定法」（以下IGRA（イグラ）検査という。）又は、「ツベルクリン反応検査」（未就学児等は）、（以下ツ反検査という。）を実施し、感染を強く疑う者については、医療機関を紹介し必要に応じて潜在性結核感染症の治療を行うよう指導している。

また、胸部エックス線検査については、IGRA検査又はツ反検査の結果、陽性の者及びこれらの検査対象外の者について実施している。対象者中、既に医療機関等で検査を受診済みの者については、地区担当保健師の訪問活動や医師連絡等により、関係機関と連携し、結果を把握している。

#### 接触者健康診断受診状況

年	対象者数 (A) 人	受診者数				受診率 (B)/(A) %	受診結果					
		保健所 実施分 人	委託医療機 関実施分 人	その他 人	計 (B) 人		発見患者 数 (C) 人	患者発見 率 (C)/(B) %	発病するお それがある と診断され た者の数 (D) 人	発病するお それがある と診断され た者の率 (D)/(B) %	潜在性結 核感染者 数 (E) 人	潜在性結 核感染者 発見率 (E)/(B) %
H30	(47) 54	(43) 50	(0) 0	(4) 4	(47) 54	(100.0%) 100.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(3) 3	(6.4%) 5.6%
H31・R1	(61) 75	(60) 70	(0) 0	(1) 5	(61) 75	(100.0%) 100.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(0) 1	(0.0%) 1.3%
R2	(47) 58	(40) 58	(7) 7	(0) 0	(47) 58	(100.0%) 100.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(1) 1	(2.1%) 1.7%
R3	(50) 127	(48) 124	(2) 3	(0) 0	(50) 127	(100.0%) 100.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(1) 1	(2.0%) 0.8%
R4	(14) 14	(13) 13	(1) 1	(0) 0	(14) 14	(100.0%) 100.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(0) 0	(0.0%) 0.0%

表中の（ ）は新規登録患者数で再掲とした。

#### (3) 登録患者の精密検査(管理健診)実施状況

登録患者のうち、治療終了者、医療を中断した者、病状不明者等について、保健師訪問活動（電話による現況調査を含む。）を通じて精密検査を行っている。

#### 登録患者の精密検査実施状況

年	対象者数 (A) 人	受診者数				受診率 (B)/(A) %	受診結果			
		保健所 実施分 人	委託医 療機関 実施分 人	その他 人	計 (B) 人		要医療者 数 (C) 人	要医療者 率 (C)/(B) %	要観察 者数 人	登録除外 者数 人
H30	45	9	0	36	45	100.0%	0	0%	36	9
H31・R1	56	17	0	39	56	100.0%	0	0%	43	13
R2	44	6	0	38	44	100.0%	0	0%	27	17
R3	28	4	0	24	28	100.0%	0	0%	24	4
R4	27	2	0	25	27	100.0%	0	0%	17	10

#### (4) 結核登録患者の実態

過去5年間の結核患者の登録状況については次のとおりである。  
結核登録者情報システムにより、患者発生届（法12条）、結核患者入退院届（法53条の11）、結核医療費公費負担申請（法37条、37条の2）、医師連絡、精密検査（管理健診）、保健師訪問等で得た患者情報を基に処理している。

ア 新規登録患者数

過去5年間の新規登録患者の状況については次のとおりである。

新規登録患者数と罹患率

(人)

年	罹患率 (人口10万 対)	活動性結核								潜在性結核 感染症 (別掲)	
		総数	肺結核活動性						肺外 結核 活動性		
			総数	喀痰塗抹陽性			その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他			
				総数	初回治療	再治療					
H30	15.1	17	11	6	6	0	5	0	6	7	
H31・R1	7.1	8	6	2	2	0	2	2	2	5	
R2	12.5	14	10	7	7	0	3	0	4	1	
R3	5.3	6	5	1	1	0	4	0	1	4	
R4	6.3	7	6	1	1	0	5	0	1	0	
年齢内訳	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20～29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	30～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	40～49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	50～59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	60～69	1	1	0	0	0	1	0	0	0	
70～	6	5	1	1	0	4	0	1	0		

\* 罹患率 = 1年間に発生した結核患者数を人口10万対で表したもの

イ 登録患者総数

過去5年間の結核登録患者の状況については次のとおりである。

活動性登録患者数と有病率

令和4年12月31日現在 (人)

年	有病率 (人口 10万 対)	登録者 総数	活動性結核								不活動 性結核	活動性 不明	潜在性結核 感染症 (別掲)	
			総数	肺結核活動性						肺外 結核 活動性				
				総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時 その他 の結核 菌陽性	登録時 菌陰性 ・ その他					
					総数	初回 治療	再 治療							
H30	10.6	32	12	7	3	3	0	4	0	5	19	1	2	9
H31・R1	5.3	22	6	4	1	1	0	2	1	2	16	0	2	9
R2	5.3	20	6	3	2	2	0	1	0	3	13	1	1	6
R3	2.7	22	3	3	0	0	0	3	0	0	18	1	1	7
R4	3.6	17	4	3	1	1	0	2	0	1	13	0	0	1

\* 有病率 = 年末時点において活動性結核患者数を人口10万対で表したもの



## 8 健康相談事業

毎月第1、3火曜日 受付時間は、午前9時30分から11時まで  
原則、予約制で、健康相談等を実施した。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の関係で実施できない期間があった。

(件)

種別 年度	クリニック	
	健康相談	その他
令和2年度	13	39
令和3年度	9	26
令和4年度	4	28

(種別注釈)

健康相談：健康診断書の発行等、直接窓口に来所した実人員。

その他：HIV等を含む性感染症検査（B型肝炎及びC型肝炎検査のみも含む）  
来所数。（匿名検査の場合もあるため、延人員）

## 9 精神保健福祉

### (1) 措置入院者状況（令和4年度）

措置入院とは、2名の精神保健指定医の診察の結果、自傷他害のおそれがあると判断された精神障害者に対し知事の権限で行う入院をいう。

緊急措置入院とは、急速を要し、通常の手続きによることができない場合に、1名の精神保健指定医の診察により72時間を限度に行う入院措置をいう。

区分 市名	令和4年度通報・申請件数					
	22条 (一般人)	23条 (警察官)	24条 (検察官)	合計	措置入院	
					措置入院	緊急 措置入院
紀の川市	0	3	0	3	1	0
岩出市	0	4	0	4	1	0
その他市町村	0	3	0	3	1	0
計	0	10	0	10	3	0

### 年度別措置入院者状況

平成29年度	0	21	4	25	0	1
平成30年度	0	12	4	16	1	1
令和元年度	0	6	3	9	0	0
令和2年度	0	9	2	11	1	1
令和3年度	0	12	6	18	1	0

### (2) 来所相談・訪問・電話相談件数

不眠、うつなど、こころの病気に関する不安や悩みのほか、家庭内暴力やひきこもり、アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症に関する相談について、精神保健福祉相談員・保健師が相談を受け、必要に応じてご家庭等を訪問し、回復のための助言・指導を行っている。また、月に数回精神科医師によるこころの健康相談も行っている。

(延人数)

	来所相談(人)	訪問(人)	電話相談(件)
平成30年度	72	77	468
令和元年度	63	46	277
令和2年度	93	99	353
令和3年度	86	116	280
令和4年度	80	80	588

### (3) 精神障害者家族教室事業

精神障害者の家族に対し、病気についての正しい知識の普及や障害の特性に応じた対応の仕方について学習することにより、精神障害者の病気の早期回復と再発を防ぐことを目的とし、平成6年度より実施している。

この家族教室は、同じ悩みをかかえる家族同士の交流の場となっている。

#### 令和4年度精神障害者家族教室実施状況

開催年月日・場所	テ ー マ	講 師	参加人数
令和4年10月31日 那賀総合庁舎	ワークショップ 「元気回復行動プラン」	地域活動支援センター櫻 施設長 岩橋千紗子氏  わらっぷ 看護師 乾トモ子 氏	20人

### (4) 精神障害者社会参加促進事業

精神保健福祉ボランティア講座を平成8年度から10年度にかけて開催し、11年度からはフォローアップ研修を開催。平成21年度にボランティア養成講座を開催し、22年度からはフォローアップ研修を実施した。

平成24年度から精神障害者社会参加促進事業に改正され、精神障害者が自立した日常生活または社会生活ができるよう、地域の精神障害者福祉の増進を図ることを目的とし、障害福祉サービス事業所職員及び精神保健福祉ボランティアを対象に研修会を実施している。令和4年度は事業実績なし。

### (5) 自殺未遂者支援事業

県内の救急医療機関を受診した自殺未遂者やその家族等に対し、相談支援を行うことにより、自殺の再企図を防止することを目的とし、令和元年度より実施している。

(件)

	和歌山県立医科大学 附属病院(件)	日本赤十字社和歌山医 療センター(件)	公立那賀病院 (件)	計
令和元年度	0	1	—	1
令和2年度	1	1	—	2
令和3年度	5	6	1	12
令和4年度	1	4	4	9

※公立那賀病院は、令和3年度より実施

(6) 未成年者薬物・アルコール予防教室

平成13年度から、未成年に対するアルコール予防事業を開始してきた。

平成15度から未成年者の飲酒予防を目的に、小学6年生を対象に学校への出張アルコール予防教室を開催している。参観日などを利用しての教室の開催時は、保護者にも同内容で実施している。

平成23年度には次年度以降の取組みについて、那賀医師会学校医部会と共催に向けて協議を実施し、平成24年度から従来のアルコール予防教室に薬物乱用防止を付加し、未成年者薬物・アルコール予防教室として実施している。平成25年度より小・中学生を対象に実施している。

年 度	参加人数 (人)	内 容
平成17年度	89	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成18年度	181	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成19年度	505	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成20年度	254	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成21年度	357	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成22年度	365	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成23年度	—	那賀医師会と共催に向けて協議
平成24年度	840	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成25年度	984	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成26年度	1053	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成27年度	1440	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成28年度	1380	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成29年度	1549	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
平成30年度	1616	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
令和元年度	1471	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
令和2年度	1207	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
令和3年度	372	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義
令和4年度	1230	アルコールハ <sup>3</sup> ッチテスト・講義

(7) 自立支援医療（精神通院医療）認定者数（各年度末現在）

外来治療の継続を図るため、従来の精神保健福祉法に規定された通院医療費公費負担制度の対象者と同様の疾病を有する方が申請により要件が認められた場合、自己負担を原則1割にする制度である。

(人)

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
紀の川市	608	653	703	783	765	802
岩出市	469	524	595	682	685	736
計	1077	1177	1298	1465	1450	1538

(8) 精神障害者保健福祉手帳所持者数（各年度末現在）

精神障害者が一定の精神障害の状態にあることを証明する手段となり、手帳の交付を受けた方に対して各種の支援を推進し、精神障害者の社会復帰及び自立並びに社会参加の促進を図ることを目的としている。

(人)

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
紀の川市	390	426	460	477	524	589
岩出市	341	378	432	459	492	555
計	731	804	892	936	1016	1144

## 10 難病対策

難病対策は、昭和47年厚生省において制定された難病対策要綱に基づき、①「調査研究の推進」②「医療施設等の整備」、③「医療費の自己負担の軽減」、④「地域における保健医療福祉の充実・連携」、⑤「QOLの向上を目指した福祉施策の推進」を5つを柱としてその充実が図られ、特定疾患治療研究事業として進められてきた。

このような対策の結果等を踏まえ、今後も治療研究を進め、疾患の克服を目指すとともに難病患者の社会参加を支援し、難病にかかっても地域で尊厳を持って生きられる共生社会の実現を目指すことを基本理念として、平成27年1月1日に「難病患者に対する医療等に関する法律」が施行された。

### (1) 指定難病医療費助成制度（対象疾患338疾患）

原因が不明で治療方法が確立されていない、いわゆる難病のうち、診断基準が確立しており、かつ難治度、重症度が高く経過が慢性にわたり、公費負担の方法をとらないと本人及び家族に精神的にも経済的にも負担が重く、さらに原因の究明、治療方法の開発等に困難をきたすおそれのあるもので稀少な疾患を対象として実施されている。

特定疾患治療研究事業では、対象疾患を平成26年度時点で56疾患と定めていたが、「難病の患者に対する医療等に関する法律」の施行後拡大され、現在338疾患である。

### (2) 特定疾患治療研究事業（対象疾患国指定4疾患、県指定2疾患）

「難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）」に基づく医療費助成制度の施行に伴い、特定疾患治療研究事業で対象とされてきた特定疾患のうち、難病法の支給対象とならなかった疾患について、引き続き当該患者の医療費の負担軽減を図るため公費負担するものとする。対象疾患は国指定の4疾患に加え、県独自で行っている2疾患である。

### (3) 難病患者相談支援事業

#### ア 難病患者医療相談事業（令和4年度実績は別表）

難病患者及びその家族に対し、医療及び日常生活に係る相談、指導、助言を行い、疾病等に対する不安の解消を図ることを目的とし、専門の医師、保健師、ケースワーカー等により構成された相談チームを編成し、相談を実施している。

#### イ 難病患者訪問相談事業

要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上及び療養上の悩みについて、個別の相談、指導、助言等を行い、疾患等に対する不安の解消を図ることを目的とし、保健師による家庭訪問等を行っている。

## 令和4年度難病患者医療相談事業実施状況

実施年月日 及び場所	対象疾患	内容及び講師	参加 人数
令和4年10月18日 那賀振興局 3階大会議室	パーキンソン 病	講演 「パーキンソン病の理解と日常生活の工夫」 和歌山県立医科大学 医学部 神経内科学 講座 高真守 氏（医師）	22人
令和4年10月26日 那賀振興局 3階大会議室	神経・筋疾患 患者	講演及び個別相談 「神経・筋疾患患者の運動療法」 関西医療大学大学院研究科長 鈴木俊明 教授（理学療法士）	11人
計 2 回		参加者合計	33 人

指定難病受給者証交付状況

年度末交付数

疾患番号	疾患名	H30	R1	R2	R3	R4
2	筋萎縮性側索硬化症	9	9	12	11	13
5	進行性核上性麻痺	13	12	13	13	13
6	パーキンソン病	120	137	137	131	127
7	大脳皮質基底核変性症	3	3	1	1	2
11	重症筋無力症	24	22	23	22	22
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	26	29	29	30	30
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	3	4	6	6	6
15	封入体筋炎	1		2	2	2
17	多系統萎縮症	6	6	5	9	6
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	22	21	24	27	26
19	ライソゾーム病	2	3	3	5	5
21	ミトコンドリア病	3	4	3	4	4
22	もやもや病	8	9	10	12	9
28	全身性アミロイドーシス			1	3	3
34	神経線維腫症	4	3	4	5	6
35	天疱瘡	3	2	2	2	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1		1	1	1
40	高安静脈炎	7	7	7	7	7
42	結節性多発動脈炎	1	1	1	1	1
43	顕微鏡的多発血管炎	4	7	9	7	5
44	多発血管炎性肉芽腫症	7	6	8	5	5
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	5	5	8	6
46	悪性関節リウマチ	5	4	4	3	2
47	バージャー病	1	1	1	1	
49	全身性エリテマトーデス	61	63	63	63	62
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	16	19	24	23	29
51	全身性強皮症	29	26	29	29	31
52	混合性結合組織病	18	15	15	18	17
53	シェーグレン症候群	10	13	14	14	16
54	成人スチル病	3	3	5	5	5
56	ベーチェット病	10	9	9	8	7
57	特発性拡張型心筋症	27	22	23	25	25
58	肥大型心筋症	9	9	9	8	8
60	再生不良性貧血	6	4	4	8	10
61	自己免疫性溶血性貧血	2	4	3	3	2
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	2	2	1	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	20	23	24	22	21
65	原発性免疫不全症候群	2	2	2	1	1
66	IgA 腎症	4	8	11	9	11
67	多発性嚢胞腎	11	12	13	12	14
68	黄色靭帯骨化症	9	10	11	9	10
69	後縦靭帯骨化症	33	38	44	37	35
70	広範脊柱管狭窄症	6	7	7	3	3
71	特発性大腿骨頭壊死症	12	18	23	18	13
72	下垂体性ADH分泌異常症	9	9	9	9	8
74	下垂体性PRL分泌亢進症	2	3	4	3	2
75	クッシング病	1	1	1	1	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	3	4	4	4	3
78	下垂体前葉機能低下症	21	25	27	25	30
83	アジソン病	2	2	2	2	2
84	サルコイドーシス	13	11	10	12	15
85	特発性間質性肺炎	12	15	23	19	21
86	肺動脈性肺高血圧症	2	4	4	2	4
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	1	1	1	2
90	網膜色素変性症	11	11	13	13	9
93	原発性胆汁性胆管炎(肝硬変)	27	24	25	23	25
94	原発性硬化性胆管炎	1	1	1	2	2
95	自己免疫性肝炎	6	7	11	10	9



疾患番号	疾患名	H30	R1	R2	R3	R4
96	クローン病	38	46	47	48	51
97	潰瘍性大腸炎	106	104	116	121	125
109	非典型溶血性尿毒症症候群				1	1
113	筋ジストロフィー	11	12	11	12	12
117	脊髄空洞症		1	1	1	1
127	前頭側頭葉変性症	1	1	1	1	1
144	レノックス・ガストー症候群			1	1	1
159	色素性乾皮症			1	1	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）		2	4	2	2
163	特発性後天性全身性無汗症					1
171	ウィルソン病	1	1	1	1	1
189	無脾症候群	1	1	1	1	1
193	ブラダー・ウィリ症候群	1	1	1	1	1
215	ファロー四徴症			1		
216	両大血管右室起始症			1	1	1
220	急速進行性糸球体腎炎			1	1	1
222	一次性ネフローゼ症候群	12	10	12	9	13
227	オスラー病					1
271	強直性脊椎炎	1	1	2	1	1
276	軟骨無形性症		1	1	1	2
283	後天性赤芽球癆		1	3	3	3
285	ファンコニ貧血	1	1	1	1	1
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症		1	1	2	1
296	胆道閉鎖症				1	
300	I g G 4 関連疾患	1	3	4	4	3
302	レーベル遺伝性視神経症		1	1	1	1
306	好酸球性副鼻腔炎	4	4	7	7	17
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）				1	1
合 計		861	917	1007	982	1006

注) 平成27年1月1日から「難病患者に対する医療等に関する法律」（難病法）が施行され、特定疾患は指定難病と改められ、対象疾患が56疾患から110疾患に、同年7月1日には306疾患に拡大した。さらに、令和元年7月1日から、333疾患となっている。

特定疾患医療受給者証交付状況

疾患番号	疾患名	H30	R1	R2	R3	R4
05	スモン	1	1	1	1	1

注) スモンは、難病法の対象にはならなかったため、引き続き「特定疾患治療研究事業」に基づき公費負担の制度が継続されている。

## 1.1 原子爆弾被爆者援護

### (1) 手当

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年12月16日法律第117号）に基づき、被爆者に手帳を交付し、放射能の影響によるものと思われる疾患の療養に対して健康管理手当・保健手当等を支給している。

(人)

年 度	被爆者健康手帳 所 持 者 数	手 当 受 給 者			
		医 療 特 別 手 当	健 康 管 理 手 当	特 別 手 当	介 護 手 当
H30年度	16 [198]	0	15	1	0
R1年度	15 [182]	0	14	1	0
R2年度	12 [172]	0	11	1	0
R3年度	12 [158]	0	10	1	0
R4年度	10 [144]	0	10	1	0

※数値は年度末現在、[ ]内は県合計

### (2) 健康管理

被爆者には原子爆弾の後遺障害ともいふべき病状にあつて医療が必要な者が多く、病気に罹患しやすい状態にあるため、健康診断を実施している。

健康診断は、年2回実施する一般検査と、被爆者の申請により年2回を限度として受診できる希望検査がある。被爆者の利便性向上を図るため、平成21年度から一般検査、希望検査ともに県が委託している医療機関で行っている。希望検査には一般検査とがん検査がある。

#### ア 一般検査

(人)

年 度	対象者数	受診者数	要精検者	精検受診者
H30年度	35	7	1	0
R1年度	32	6	0	0
R2年度	28	6	1	0
R3年度	20	7	1	2
R4年度	10	3	1	1
内 訳	前 期	10	3	1
	後 期	8	3	0

イ 希望検査

(人)

検診区分	年度	対象者数	受診者数	要精検者	精検受診者
一般検査	H30年度	17	2	0	0
	R1年度	16	2	0	0
	R2年度	15	2	0	0
	R3年度	11	4	0	0
	R4年度	8	3	0	0
がん検査	H30年度	17	1	1	0
	R1年度	16	1	0	0
	R2年度	15	1	0	0
	R3年度	10	3	1	0
	R4年度	8	1	0	0

## 1 2 医療と介護の連携

医療と介護の連携を強化するため、地域の病院、医師、介護保険施設、在宅介護事業者や従業者、市職員等の医療・福祉関係者で協議会を構成し、体制づくりに向けての取組を行っている。

＜那賀圏域医療と介護の連携推進協議会の組織＞

**【市実施】**

協議会、認知症部会、訪問看護部会

**【市が那賀医師会在宅医療サポートセンターに業務委託して実施】**

病院部会、介護保険施設部会、訪問看護部会、

介護支援専門員部会（令和2年度から健康福祉部からサポートセンターへ実施主体が変更）

**【健康福祉部実施】**

栄養部会

### (1) 那賀圏域医療と介護の連携推進協議会事業の開催状況（各部会含む）

	開催回数	内 容	主 構 成
栄養部会	4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事・栄養に関するサマリーの更新</li> <li>・嚥下調整食施設別食事基準一覧表の更新</li> </ul>	病院・介護保険施設の栄養士
退院調整ルール策定事業	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査における退院調整ルール（手引き）のメンテナンス</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、書面開催とした。</p>	介護支援専門員 相談支援専門員 病院の地域連携室職員

### (2) 住民への取組

看護学生への働きかけ		
県立高等看護学院 看護科2年生	講義 「協議会の取組、メッセージノート、終末期」 安川診療所院長、岩出保健所	50人

### 1 3 健康づくり

少子高齢社会において、地域住民の健康保持、増進を図るためには、健康寿命の延伸、生活の質の向上、生活習慣病の改善（一次予防）に重点を置き、住民が主体的に健康づくりに取り組むことが必要であることから、生活を通じた健康づくりを総合的に推進している。

#### (1) 健康長寿のための地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の広域的な連携により、地域の健康課題を把握し、生涯を通じた継続的な健康管理の支援体制を整備し、健康の保持・増進を図ることを目的として、那賀地域・職域連携推進協議会を設置している。協議会では、健康情報の交換や協議を行い、目的達成のため、研修会・出前講座・啓発事業等を実施している。

平成 26 年度より健康長寿日本一わかやまを目指すため、地域の健康づくりの草の根運動の中核を担う人材育成事業（健康推進員養成講習会）を行っている。

#### ア 那賀地域・職域連携推進協議会の開催

開催日時・場所	内 容
令和 4 年 7 月 1 4 日(木) (那賀振興局)	ワーキング会議（新型コロナウイルス感染症のため中止） (1) 県の健康状況と政策について (2) 各市の健康状況・健診の状況について  (ワーキンググループ委員) 那賀医師会、紀の川市、紀の川市教育委員会、岩出市、岩出市教育委員会、バンドー化学株式会社、伊都・那賀地域産業保健センター
令和 4 年 1 1 月 2 4 日(木) (那賀振興局)	協議会 令和 4 年度那賀地域・職域連携推進協議会 (1) 和歌山県の健康状況について (2) 令和 3 年度事業報告 (3) 各団体での取組について (4) 令和 4 年度活動計画  (委員会構成) 那賀医師会、那賀歯科医師会、那賀薬剤師会、公立那賀病院、栄養士グループ NAGA、那賀食生活改善推進協議会、和歌山労働基準監督署、橋本労働基準監督署、バンドー化学株式会社、紀の川市商工会、岩出市商工会、那賀町商工会、紀の里農協、伊都・那賀地域産業保健センター、全国健康保険協会和歌山支部、紀の川市、岩出市、紀の川市、岩出市、紀の川市教育委員会、岩出市教育委員会、岩出保健所

イ 健康推進員養成講習会

開催日時・場所 (予定)	内 容 (予定)	講師 (予定)
令和5年 2月2日(木) (那賀振興局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・健康の健康状態と対策について</li> <li>・生活習慣病予防</li> </ul>	岩出保健所職員 岩出保健所長  那賀医師会 上田内科クリニック 院長 上田晃子先生
令和5年 2月3日(金) (那賀振興局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市の健康状況と各種検診について</li> <li>・身体活動・運動(理論と実践)</li> <li>・グループワーク (普段の生活の中で活かしていること～健康推進員養成講習会を受けて～)</li> <li>・修了式</li> </ul>	紀の川市健康推進課 岩出市保険年金課 貴志川リハビリテーション病院 理学療法士 中北智士先生 助言者 岩出保健所長 雑賀博子

ウ 地域保健・職域保健連携事業

開催日時・場所	研 修 内 容	受講人員(人)
令和4年4月 ～令和5年3月  各事業所、食品事業 所等	(出張出前講座) ・食中毒予防 ・食品衛生 ・食品表示  計13回	245

エ 「小中高から始める生活習慣病予防」出張講座

教室名	日程	対象	人数	講師
未成年者薬物・ アルコール予防教室	令和4年10月11日	小学6年生 調月小学校	18	○岩出保健所 保健課・衛生環境課職員 ○学校医 ※那賀医師会と共同実施
	令和4年11月18日	小学6年生 長田小学校	14	
	令和4年12月2日	小学6年生 中央小学校	80	
	令和4年12月7日	小学6年生 名手小学校	40	
	令和4年12月12日	小学6年生 竜門小学校	28	
	令和4年12月15日	小学6年生 岩出小学校	56	
	令和5年1月12日	小学6年生 山崎北小学校	126	
	令和5年1月17日	小学6年生 安楽川小学校	50	
	令和5年1月19日	小学6年生 根来小学校	92	
	令和5年2月2日	小学6年生 東貴志小学校	16	
	令和5年2月7日	小学6年生 山崎小学校	129	
	令和5年2月22日	小学6年生 上岩出小学校	66	
	令和4年8月31日	中学3年生 粉河中学校	72	
	令和4年9月8日	中学3年生 岩出第二中学校	200	
	令和4年10月14日	中学3年生 打田中学校仙溪分校	8	
	令和5年1月18日	中学3年生 岩出中学校	259	
	令和5年2月9日	中学3年生 貴志川中学校	中止	
防煙教室	令和4年10月26日	中学2年生 岩出第二中学校	220	○岩出保健所保健課職員 ○学校医 ※那賀医師会と共同実施
思春期講座 生活習慣病予防	令和4年11月9日	高校2年生 那賀高等学校	274	○岩出保健所保健課職員
		計	18回	1,748人

オ 育児期の親が集まる場を利用したワークショップ

日時	場所	対象者	人数(名)	内容
令和3年4月～ 令和4年3月(5回)	岩出保健所	乳幼児保護者	32	療育・発達相談時に食育リーフレット等配布による啓発
令和3年4月～ 令和4年3月(3回)	紀の川市西貴志コミュニティセンター	小学生	9	きっずくつきんぐ 講師 栄養士グループNAGA (地域職域連携推進協議会委員)
令和3年10月26日	西貴志保育所	年中・年長	22	食育のお話・おやこクッキング
令和3年11月4日	八王子保育所	年中・年長	24	
令和3年12月7日	東貴志保育所	年中・年長	30	
令和4年1月14日	丸栖保育所	年長	38	
令和4年1月26日	こばと保育所	年長	47	
令和4年1月28日	なるき保育所	年長	42	
令和4年2月1日	中貴志保育所	年長	41	
		計	285	

## (2) 喫煙対策

喫煙は、肺がんや COPD（慢性閉塞性肺疾患）をはじめ、多くの疾患を引き起こす危険因子であり、喫煙が健康に及ぼす影響について認識を深める。

また、受動喫煙防止が規定された健康増進法の施行に伴い、住民の健康増進の観点から公共施設の分煙推進など受動喫煙防止の取組を積極的に推進している。

特に、子供への受動喫煙防止対策として、市の乳幼児健診受診児の保護者に対し、子供や家族への受動喫煙の影響についてリーフレットを配布し、普及している。

- ア 5月31日の「世界禁煙デー」に合わせた啓発（保健所・各市で実施）
- イ 小・中・高校生を対象とした指導の実施
- ウ 子供への受動喫煙防止対策
- エ 各種行事における啓発

## (3) 食生活改善推進協議会の育成・活動支援

健康づくりの推進には、住民参加型の地域ボランティア活動が積極的に展開されることが重要であることから、保健所・各市実施の養成教室修了者で組織され、地域に密着した活動に取り組んでいる食生活改善推進協議会の育成や地域での活動の支援を行っている。

### ア 管内食生活改善推進員数（令和4年度、人）

紀の川市	岩出市	計
61	27	88

### イ 協議会活動

全国、県協議会、保健所単位協議会等で実施する研修会への参加や、各市協議会が行う住民への食生活改善普及啓発や健診啓発、健康まつり等への協力などを行っている。

さらに、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、生涯における健康づくり活動を、食を通して地域に推進している。

- ・生涯骨太クッキング事業
- ・男性のための料理教室
- ・おやこ食育教室、地域・職域おやこ教室
- ・生活習慣病予防のための減塩スキルアップ事業
- ・禁煙啓発活動
- ・他協議会・団体との交流会の実施

### ○ 管内協議会活動状況

（令和4年度）

	回数(回)	人員(人)
子供の健康・食生活	21	469
若者・働き世代の健康・食生活	101	648
高齢者の健康・食生活	193	831
その他	138	250
総数	453	2198



(4) 和歌山県のがん検診受診状況（令和2年度）【69歳以下】  
 （令和2年度地域保健・健康増進事業報告の受診者・対象者数※による受診率）

胃がん検診

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	順位(位)	
全 国	32,278,580	2,251,002	7.0		
和歌山県	252,674	26,786	10.6	9	都道府県別
紀の川市	17,145	2,798	16.3	12	県内市町村別
岩出市	14,315	1,864	13.0	20	県内市町村別

肺がん検診

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	順位(位)	
全 国	50,750,595	2,767,645	5.5		
和歌山県	378,035	26,899	7.1	13	都道府県別
紀の川市	24,873	2,114	8.5	25	県内市町村別
岩出市	22,645	1,992	8.8	24	県内市町村別

大腸がん検診

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	順位(位)	
全 国	50,761,574	3,312,944	6.5		
和歌山県	378,047	26,657	7.1	20	都道府県別
紀の川市	24,873	1,728	6.9	28	県内市町村別
岩出市	22,645	1,887	8.3	23	県内市町村別

子宮頸がん検診

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	順位(位)	
全 国	38,590,373	5,916,601	15.2		
和歌山県	279,959	54,204	19.4	6	都道府県別
紀の川市	18,149	3,908	21.5	18	県内市町村別
岩出市	17,520	4,567	26.1	11	県内市町村別

乳がん検診

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	順位(位)	
全 国	25,382,359	3,945,757	15.6		
和歌山県	194,272	34,210	17.6	21	都道府県別
紀の川市	12,839	3,571	27.8	7	県内市町村別
岩出市	11,727	2,866	24.4	13	県内市町村別

出典 令和2年度地域保健・健康増進事業報告

※対象者数=対象年齢の全住民

注)胃がん、子宮及び乳がんの受診者数

(当該年度受診者数) + (前年度受診者数) - (2年連続受診者数)

(5) 各種がん検診の精密検査受診状況(令和元年度)

胃がん(X線)検診 精密検査結果 個別・集団検診別 全年齢

許容値	受診者数 A	要精密検査者数 B	異常認めず		C	D	E	F	B/A	E/B	F/B	C/A	C/B	D/C				
			胃がん以外の がん(転移性を含む)	胃がん以外の がん(転移性を含む)														
全国	2,588,317	175,913	21,338	3,260	1,816	757	856	117,684	12,522	20,253	20,253	6.8%	81.4%	7.1%	11.5%	0.13%	1.9%	55.7%
個別	618,200	43,988	5,594	690	356	133	258	25,728	3,579	8,139	8,139	7.1%	73.4%	8.1%	18.5%	0.11%	1.6%	51.6%
集団	1,970,117	131,925	15,744	2,570	1,460	624	598	91,956	8,943	12,114	12,114	6.7%	84.0%	6.8%	9.2%	0.13%	1.9%	56.8%
和歌山県	13,910	649	79	16	11	3	2	399	85	68	68	4.7%	76.4%	13.1%	10.5%	0.12%	2.5%	68.8%
個別	2,143	231	20	3	2	1	1	128	29	50	50	10.8%	65.8%	12.6%	21.6%	0.14%	1.3%	66.7%
集団	11,767	418	59	13	9	2	271	56	18	18	18	3.6%	82.3%	13.4%	4.3%	0.11%	3.1%	69.2%
紀の川市	2,063	79	12	1	1	0	1	45	19	1	1	3.8%	74.7%	24.1%	1.3%	0.05%	1.3%	100.0%
個別	53	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
集団	2,010	76	12	1	1	0	1	45	16	1	1	3.8%	77.5%	21.1%	1.3%	0.05%	1.3%	100.0%
岩出市	325	7	1	0	0	0	0	3	1	2	2	2.2%	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	-
個別	35	5	0	0	0	0	0	2	1	2	2	14.3%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	-
集団	290	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

胃がん(内視鏡)検診 精密検査結果 個別・集団検診別 全年齢

許容値	受診者数 A	要精密検査者数 B	異常認めず		C	D	E	F	B/A	E/B	F/B	C/A	C/B	D/C				
			胃がん以外の がん(転移性を含む)	胃がん以外の がん(転移性を含む)														
全国	1,109,090	86,426	74,224	5,697	11,009	23,255	4,163	2,550	1,004	3,033	3,033	7.8%	93.9%	1.5%	4.6%	0.38%	4.8%	61.3%
個別	1,089,677	85,561	73,903	5,629	10,491	23,102	4,124	2,528	998	3,021	3,021	7.9%	94.0%	1.5%	4.6%	0.38%	4.8%	61.3%
集団	19,413	865	321	68	518	153	39	22	6	12	12	4.5%	84.0%	7.4%	8.6%	0.20%	4.5%	56.4%
和歌山県	20,033	3,250	3,021	20	229	357	95	67	44	24	24	16.2%	96.7%	1.4%	1.9%	0.47%	2.9%	70.5%
個別	20,033	3,250	3,021	20	229	357	95	67	44	24	24	16.2%	96.7%	1.4%	1.9%	0.47%	2.9%	70.5%
集団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
紀の川市	1,469	150	144	0	6	23	3	2	2	1	1	10.2%	79.3%	2.0%	18.7%	0.20%	2.0%	66.7%
個別	1,469	150	144	0	6	23	3	2	2	1	1	10.2%	79.3%	2.0%	18.7%	0.20%	2.0%	66.7%
集団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
岩出市	1,465	112	103	1	9	22	5	5	5	0	0	7.6%	97.3%	2.7%	0.0%	0.34%	4.5%	100.0%
個別	1,465	112	103	1	9	22	5	5	5	0	0	7.6%	97.3%	2.7%	0.0%	0.34%	4.5%	100.0%
集団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-

肺がん(全て)検診 精密検査結果 個別・集団検診別 全年齢

許容値	要精密検査者数		精密検査受診者		未把握		要精検率		精検受診率		精検未把握率		精検未受診率		早期がん割合	
	A	B	C	D	E	F	B/A	(B-E-F)/B	E/B	F/B	C/A	C/B	D/C			
全国	7,861,732	166,841	55,034	4,528	10,603	17,118	2.1%	83.4%	6.4%	10.3%	0.06%	2.7%	30.8%			
個別	3,555,224	85,763	28,572	1,978	5,067	11,457	2.4%	80.7%	5.9%	13.4%	0.06%	2.3%	28.5%			
集団	4,306,508	81,078	26,462	2,550	5,536	5,661	1.9%	86.2%	6.8%	7.0%	0.06%	3.1%	32.6%			
和歌山県	64,936	1,023	340	28	119	92	1.6%	79.4%	11.6%	9.0%	0.04%	2.7%	28.6%			
個別	33,889	717	223	17	101	81	2.1%	74.6%	14.1%	11.3%	0.05%	2.4%	29.4%			
集団	31,047	306	117	11	18	11	1.0%	90.5%	5.9%	3.6%	0.04%	3.6%	27.3%			
紀の川市	6,357	89	44	1	4	0	1.4%	95.5%	4.5%	0.0%	0.02%	1.1%	100.0%			
個別	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-			
集団	6,357	89	44	1	4	0	1.4%	95.5%	4.5%	0.0%	0.02%	1.1%	100.0%			
岩出市	5,109	143	43	3	9	9	2.8%	87.4%	6.3%	6.3%	0.06%	2.1%	0.0%			
個別	3,882	143	43	3	9	9	3.7%	87.4%	6.3%	6.3%	0.08%	2.1%	0.0%			
集団	1,227	0	0	0	0	0	0.0%	-	-	-	0.00%	-	-			

大腸がん検診 精密検査結果 個別・集団検診別 全年齢

許容値	要精密検査者数		精密検査受診者		未把握		要精検率		精検受診率		精検未把握率		精検未受診率		早期がん割合	
	A	B	C	D	E	F	B/A	(B-E-F)/B	E/B	F/B	C/A	C/B	D/C			
全国	8,355,845	637,483	109,169	20,048	162,771	26,289	99,522	7.6%	68.9%	13.4%	17.6%	0.24%	3.1%	49.8%		
個別	4,848,293	409,189	64,786	13,278	94,698	15,671	56,652	8.4%	64.5%	14.3%	21.2%	0.27%	3.2%	47.9%		
集団	3,507,552	228,294	44,383	6,770	68,073	10,618	42,870	6.5%	76.9%	11.8%	11.3%	0.19%	3.0%	53.5%		
和歌山県	63,643	5,221	769	191	1,685	302	1,221	8.2%	68.0%	19.5%	12.5%	0.30%	3.7%	61.8%		
個別	34,879	3,335	483	123	1,024	167	711	9.6%	63.9%	21.5%	14.6%	0.35%	3.7%	59.3%		
集団	28,764	1,886	286	68	661	135	510	6.6%	75.1%	16.1%	8.8%	0.24%	3.6%	66.2%		
紀の川市	7,344	477	60	17	142	35	106	6.5%	67.7%	30.4%	1.9%	0.23%	3.6%	23.5%		
個別	1,806	114	8	5	18	5	12	6.3%	48.2%	50.9%	0.9%	0.28%	4.4%	20.0%		
集団	5,538	363	52	12	124	30	94	6.6%	73.8%	24.0%	2.2%	0.22%	3.3%	25.0%		
岩出市	4,614	328	25	18	61	95	16	7.1%	60.7%	10.7%	28.7%	0.39%	5.5%	44.4%		
個別	3,369	270	18	15	61	12	69	8.0%	61.1%	12.6%	26.3%	0.45%	5.6%	40.0%		
集団	1,255	58	7	3	14	4	10	4.6%	58.6%	1.7%	39.7%	0.24%	5.2%	66.7%		



乳がん(マンモ)検診 精密検査結果 個別・集団別 全年齢

許容値	受診者数	受診者数 受2 診者数 連続	マンモグラフィの判定人数					精密検査要診者				未 受 診	未 把 握					
			カ テ ゴ リ 1	カ テ ゴ リ 2	カ テ ゴ リ 3	カ テ ゴ リ 4	カ テ ゴ リ 5	要 精 密 検 査 者 数	ま ま 者 乳 が ん の 再 検 査 を 要 す る 者 の 数	が ん の 再 検 査 を 要 す る 者 の 数	が ん の 再 検 査 を 要 す る 者 の 数			が ん の 再 検 査 を 要 す る 者 の 数				
全国	3,109,208	601,040	194	743	2,583,980	271,260	163,348	10,900	2,386	182,671	70,398	10,201	5,051	1,333	5,160	77,975	5,422	13,564
個別	1,632,125	198,283	168	599	1,280,877	189,719	103,165	6,250	1,518	114,930	42,982	5,937	2,844	831	4,112	48,569	3,561	9,847
集団	1,477,083	402,757	26	144	1,303,103	81,541	60,183	4,650	868	167,741	27,416	4,264	2,207	502	1,048	29,406	1,861	3,717
和歌山県	29,146	10,373	0	1	24,638	2,665	1,652	163	30	1,877	800	119	78	14	19	756	90	93
個別	15,423	3,160	0	1	12,123	2,155	1,058	63	23	1,143	493	81	52	11	17	438	54	60
集団	13,723	7,213	0	0	12,515	510	594	100	7	734	307	38	26	3	2	318	36	33
紀の川市	4,415	3,331	0	0	3,804	324	261	24	2	286	123	5	4	0	0	125	14	19
個別	630	388	0	0	428	131	68	3	0	70	24	2	2	0	0	33	5	6
集団	3,785	2,943	0	0	3,376	193	193	21	2	216	99	3	2	0	0	92	9	13
岩出市	2,386	1,323	0	0	1,875	332	126	53	0	176	62	8	4	1	0	98	5	3
個別	1,408	692	0	0	1,004	271	126	7	0	130	49	6	3	1	0	72	3	0
集団	978	631	0	0	871	61	0	46	0	46	13	2	1	0	0	26	2	3

許容値	要 精 検 査 率	B/A	(B-E-F)/B	精 検 査 未 受 診 率	E/B	10%以下	精 検 査 未 把 握 率	F/B	10%以下	0.23%以上	C/A	陽 性 反 応 的 中 度	C/B	2.5%以上	早 期 が ん 割 合	D/C
全国	5.9%	89.6%	3.0%	7.4%	0.33%	5.6%	49.5%									
個別	7.0%	88.3%	3.1%	8.6%	0.36%	5.2%	47.9%									
集団	4.6%	91.8%	2.7%	5.5%	0.29%	6.3%	51.8%									
和歌山県	6.4%	90.3%	4.8%	5.0%	0.41%	6.3%	65.5%									
個別	7.4%	90.0%	4.7%	5.2%	0.53%	7.1%	64.2%									
集団	5.3%	90.6%	4.9%	4.5%	0.28%	5.2%	68.4%									
紀の川市	6.5%	88.5%	4.9%	6.6%	0.11%	1.7%	80.0%									
個別	11.1%	84.3%	7.1%	8.6%	0.32%	2.9%	100.0%									
集団	5.7%	89.8%	4.2%	6.0%	0.08%	1.4%	66.7%									
岩出市	7.4%	95.5%	2.8%	1.7%	0.34%	4.5%	50.0%									
個別	9.2%	97.7%	2.3%	0.0%	0.43%	4.6%	50.0%									
集団	4.7%	89.1%	4.3%	6.5%	0.20%	4.3%	50.0%									

## 1.4 栄養

### (1) 栄養指導等の実施状況

健康増進法に基づき、住民の健康の保持増進を図るため必要な栄養指導のうち、特に専門的な知識及び技術を必要とするものの指導、運動指導等を行っている。

#### 個別及び集団指導実施状況

(令和4年度)

	栄養指導	運動指導		休養指導	禁煙指導	その他
		(再掲)病態別	(再掲)訪問			
個別延人員 (人)						3
集団延人員 (人)	38			6		1,230

### (2) 給食施設指導

健康増進法に基づき特定かつ多数の者に継続的に食事を供給する施設に対し栄養管理について必要な指導及び助言を行っている。

(令和4年度：延施設数)

特定給食施設		その他の給食施設	計
1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上		
0	1	0	1

### (3) 免許関係

(令和4年度：申請件数)

	管理栄養士	栄養士
免許申請	5	0
書換え交付申請	2	7
再交付申請	0	0

### (4) 公衆栄養学臨地実習受入状況

学校名	実習期間	受入人員(人)
	該当なし	

(5) 栄養士等研修会

在宅栄養士、給食施設栄養士、行政栄養士等に対し必要な知識の習得や効果的な指導を行うため研修会を開催している。

開催日時・場所	内 容	受講人員(人)
	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	

(6) 誇大表示の禁止（健康増進法第 65 条）

健康保持増進の効果等に関する広告等について、「著しく事実に相違する」又は「著しく人を誤認させる」ような表示をすることは規制の対象となる。

保健所ではこれらの表示について相談指導等を行っている。

## 1 5 母子保健

### (1) 要フォロー児対策

#### ア 被虐待児のフォロー

母子保健活動の中で虐待が疑われる事例を発見したり、地域住民や他機関から相談があった場合、児童相談所、市等関係機関に連絡するとともに、保健師、児童福祉司、保育士、幼稚園・学校の教諭、主任児童委員、民生委員・児童委員等の関係者と一緒に子どもを見守りつつ、親への支援を行い、要保護児童対策地域協議会及び、必要に応じて事例検討会に参加している。

また、虐待予防の視点から家庭訪問や母子保健事業において、母親の育児不安の軽減に努めている。

#### イ 乳幼児発達相談指導事業

身体的または精神的な発達の遅れのある乳幼児を対象に、専門家による相談指導事業や保健指導を実施することにより、保護者の育児不安を和らげるとともに、乳幼児の健全な発達・育成を支援する目的で、年6回開催している。

令和2、3年度については、コロナの影響で年5回の開催になった。

理学療法士による運動発達相談

(人)

年 度	H29	H30	R元	R2	R3	R4
実施回数	6	6	6	5	5	6
相談者延人数 ( )は実人数	63 (27)	56 (29)	70 (26)	35 (20)	21 (13)	24 (11)

※運動発達相談は療育相談と同時開催



ウ 療育相談（整形外科）

整形外科的な疾病又は異常の早期発見のための診査を行い、又は相談に応じ、必要な療育の指導を行っている。

対象は18歳未満で、障害児には該当しないが身体的な発達に問題のある者又はおそれのある者で、年6回開催している。

令和2、3年度については、コロナの影響で年5回の開催になった。

(人)

	H 29 年 度	H 30 年 度	R 元 年 度	R 2 年 度	R 3 年 度	R 4年度			
						総 数	紀 の 川 市	岩 出 市	
内 容	肢体	77	67	91	56	41	46	28	18
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
受 診 結 果	経過観察	50	39	57	27	17	21	17	4
	医療機関紹介	1	2	3	3	1	2	0	2
	終了	34	36	31	26	15	22	11	11
者 年 齢	6か月未満	0	0	0	1	0	0	0	0
	6か月～1歳未満	13	18	21	6	4	2	2	0
	1歳～2歳未満	52	41	47	30	20	29	21	8
	2歳～4歳未満	16	14	20	15	15	9	3	6
	4歳以上	4	4	3	4	2	6	2	4
受診者合計		85	77	91	56	41	46	28	18
未受診者		32	23	34	21	10	25	10	15

※「結果」の重複児童あり

(2) 小児慢性特定疾病

小児慢性疾患のうち、小児がんなど特定の疾患について、その治療は長期にわたり医療費の負担も高額になることから、昭和49年小児慢性特定疾患治療研究事業が創設され、その治療の確立と普及が図られるとともに、医療費の患者自己負担分が補助されてきた。

平成17年4月1日からは、児童福祉法に基づく「小児慢性特定疾患治療研究事業」という新たな制度として、対象疾患群を見直し、基準の設置、世帯所得に応じた自己負担額の導入、対象年齢の延長や福祉サービスの給付という内容で実施するようになった。

また、平成27年1月1日から児童福祉法の一部を改正する法律により、「小児慢性特定疾病医療費助成制度」として704疾病に対象が拡大され、児童等の自立支援事業の法定化等により、小児児童等の健康の保持増進及び自立の促進など、対策の充実が図られることとなった。さらに、令和3年11月現在788疾病が対象となっている。

小児慢性特定疾病医療費助成制度

疾患別・市別受給者数（管外在住の受給者を除く）（令和5年3月末）（人）

疾患群 番号	疾患群名	紀の川市	岩出市	合 計
0.1	悪性新生物	9	9	18
0.2	慢性腎疾患	4	1	5
0.3	慢性呼吸器疾患	0	1	1
0.4	慢性心疾患	15	10	25
0.5	内分泌疾患	7	13	20
0.6	膠原病	1	2	3
0.7	糖尿病	2	6	8
0.8	先天性代謝異常	3	1	4
0.9	血液疾患	1	1	2
1.0	免疫疾患	1	0	1
1.1	神経・筋疾患	3	5	8
1.2	慢性消化器疾患	4	3	7
1.3	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	2	2	4
1.4	皮膚疾患群	0	0	0
1.5	骨系統疾患	1	1	2
1.6	脈管系疾患	1	0	1
	合 計	54	55	109

(3) 不妊治療対策

ア 特定不妊治療費助成事業

不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費がかかる、配偶者間の体外受精・顕微授精に要する費用の一部を助成している。

また、紀の川市及び岩出市の上乗せ助成に係る申請受付の事務の委託を受けている。

令和2年度 延件数：101件

令和3年度 延件数：150件

令和4年度 延件数：39件

イ こうのとりの相談

不妊や習慣性流産等で悩んでいる方を対象に、不妊に関する情報提供や医学的な相談及び心の悩みを聴くことで、不妊等に関する自己決定を支援するとともに夫婦間・家族の心身の健康を支援することを目的とする。

相談には医師や保健師が応じている。

令和2年度相談 延件数：44件（電話相談32件、面接10件、メール2件）

令和3年度相談 延件数：73件（電話相談63件、面接8件、メール2件）

令和4年度相談 延件数：17件（電話相談14件、面接2件、メール1件）

(4) 思春期保健対策

高校生を対象として、性に関する正しい知識を学び、予期せぬ妊娠及び性感染症を防ぐことを目的として実施している。

実施日（実施場所）	参加人数	実施内容
	和歌山県立粉河高等学校 定時制	・「思春期の生と性について」 DVD貸出
令和4年11月24日 (那賀高等学校)	和歌山県立那賀高等学校 2年生 274名	・講演「思春期の生と性について」 講師 岩出保健所 臨床検査技師 保健師

(5) 子どもの事故予防対策

乳幼児のいる家庭で事故予防に取り組むことができるように支援するとともに、事故が発生した場合に対応できる能力の習得を推進するために実施している。

実施日	実施場所	参加者数	内容
実施なし			(令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で申込なし)

(6) 母子保健推進

ア 家族でよい歯のコンクール

歯科保健推進事業の一環として、前年度の3歳児歯科健康診査を受診した幼児とその家族を対象に、歯及び口腔が健康な者を選出し表彰することで、歯科保健の普及と啓発を図るために実施している。(令和2～4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止)

3歳児歯科健康診査受診者数	第1次選考審査会参加者数 (保健所における審査)	第2次選考審査会参加者数 (県における審査)
0	0	0

イ 母と子の健康づくり運動推進事業

母子保健の水準は改善されたが、近年出生数の減少、核家族化、女性の社会進出等によって新たな問題が生じている。母親が安心して子育てができるように、そして、子ども達がすこやかに成長することを目的に、母子保健推進員が家庭訪問や健診・親子教室等への協力支援等の活動を続けている。

和歌山県母と子の健康づくり運動協議会那賀支部は、各市の母子保健推進員が、母性及び乳幼児の健康の保持増進を図り、健全育成を推進するため、2市合同による研修や地域活動を行っている。

母子保健推進員数(人)  
(令和5年4月現在)

紀の川市	岩出市	計
122	38	160

和歌山県母と子の健康づくり運動協議会那賀支部の主な活動状況(令和4年度)

事業名	内 容	実施日等
那賀母子保健研修会	○母子保健推進員研修会 講演：「妊産婦のメンタルヘルスについて」 講師：ましまメンタルクリニック 馬島先生	実施日：R4.6.30 参加者：61人 場 所：粉河ふるさとセンター
	○支部役員研修 講演：「受動喫煙防止対策に関するトピックス」 講師：岩出保健所 管理栄養士	実施日：R4.5.31 参加者：11人 場 所：振興局大会議室
母子保健推進	母子保健推進員活動PR 子育て支援のリーフレット配布等	通年

(7) その他

- ア 母体保護関係
- (ア) 市町村別人工妊娠中絶件数

	H30年度 20歳未満再掲	R元年度 20歳未満再掲	R2年度 20歳未満再掲	R3年度 20歳未満再掲	R4年度 20歳未満再掲
管内	106 9	98 9	113 3	95 9	93 4
紀の川市	45 2	45 5	57 2	34 4	43 0
岩出市	61 7	53 4	56 1	61 5	50 4

(イ) 年齢区分別、週別人工妊娠中絶件数（令和元年～令和4年度、岩出保健所管内）

区分	年度	20歳 未満	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50歳 以上	不詳	計
満7週 以前	R元	2	10	12	14	9	4	2	0	0	53
	R2	1	13	13	15	14	8	0	0	0	64
	R3	2	11	5	12	12	9	0	0	0	51
	R4	1	9	11	15	10	6	0	0	0	52
満8週 ～11週	R元	6	9	10	7	5	1	1	0	0	39
	R2	2	13	11	9	4	4	0	0	0	43
	R3	4	7	8	6	4	5	0	0	0	34
	R4	3	7	6	7	10	2	2	0	0	37
満12週 ～15週	R元	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4
	R2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	R3	1	3	1	0	0	0	0	0	0	5
	R4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
満16週 ～19週	R元	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	R3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	4
	R4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
満20週 ～21週	R元	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	R2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	R3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	R4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
不詳	R元	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	R元	9	19	23	22	17	5	3	0	0	98
	R2	3	27	26	26	19	12	0	0	0	113
	R3	9	22	15	19	16	14	0	0	0	95
	R4	4	17	18	22	22	8	2	0	0	93

イ 出生数、出生時の体重（平成29年～令和3年、岩出保健所管内）

	年	計	0.5kg 未満	0.5～ 1.0未	1.0～ 1.5未	1.5～ 2.0未	2.0～ 2.5未	2.5～ 3.0未	3.0～ 3.5未	3.5～ 4.0未	4.0～ 4.5未	4.5～ 5.0未	5.0kg 以上	不詳
管内	H29	804	0	0	3	15	63	315	334	68	6	0	0	0
	H30	760												
	R元	747	0	2	3	10	65	308	290	64	3	1	0	1
	R2	706	0	3	3	14	55	263	289	73	6	0	0	0
	R3	722	0	0	2	12	69	280	279	76	4	0	0	0
紀の川市	H29	359	0	0	1	2	25	155	146	27	3	0	0	0
	H30	339												
	R元	332	0	0	1	3	31	125	139	31	1	1	0	0
	R2	295	0	0	2	4	23	105	123	33	5	0	0	0
	R3	313	0	0	0	10	22	128	114	38	1	0	0	0
岩出市	H29	445	0	0	2	13	38	160	188	41	3	0	0	0
	H30	421												
	R元	415	0	2	2	7	34	183	151	33	2	0	0	1
	R2	411	0	3	1	10	32	158	166	40	1	0	0	0
	R3	409	0	0	2	2	47	152	165	38	3	0	0	0

人口動態統計から(H30体重別出生数 医務課資料無)

ウ 母子保健事業統計（次頁以降参照）

# 母子保健事業統計

各市の令和4年度母子保健事業実施報告から作成

## (ア) 妊娠届出報告書

(人)

市町村名	妊娠届出数	満11週以内 (%)		満12～19週 (%)		満20～27週 (%)		満28週以上 (%)		分産後 (%)	不詳 (%)	18歳以下再掲	40歳以上再掲
		A	B	A	B	A	B	A	B				
管内	652	96.5%	17	2.6%	4	0.6%	1	0.2%	1	0.2%	0	1	11
紀の川市	288	97.6%	6	2.1%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	1	11
岩出市	364	95.6%	11	3.0%	3	0.8%	1	0.3%	1	0.3%	0	0	0

(注) 右欄は、妊娠届出数に対する割合

## (イ) 妊婦一般健康診査(医療機関委託分)

母子保健法の一部改正により事業の一部が市町村に移譲され、母子保健法第12条及び第13条に規定される健康診査について「妊産婦及び乳幼児に対する健康診査実施要綱」が定められた。妊婦の健康管理を図るため、妊娠届出をした妊婦に、母子健康手帳、妊婦一般健康診査受診票が交付される。

(初回)

市町村名	受診票交付数	受診者数	受診率	血色素		尿蛋白		尿糖		梅毒	TPHA	HBs	HCV	血圧	異常なし	要指導	要精密	
				10.0以下	10.1～11.9	+	2+	3+	+									2+
管内	630	641	101.7%	6	139	70	6	0	12	4	1	2	1	1	8	619	14	8
紀の川市	266	276	103.8%	2	65	26	4	0	6	2	0	1	1	0	4	268	5	3
岩出市	364	365	100.3%	4	74	44	2	0	6	2	1	0	1	1	4	351	9	5

(5回)

市町村名	受診票交付数	受診者数	受診率	血色素		尿蛋白		尿糖		血圧	異常なし	要指導	要精密	
				10.0以下	10.1～11.9	+	2+	3+	+					2+
管内	565	639	113.1%	49	428	53	4	0	21	2	3	540	77	22
紀の川市	184	270	146.7%	26	182	20	1	0	10	1	0	231	25	14
岩出市	381	369	96.9%	23	246	33	3	0	11	1	3	309	52	8

(8回)

市町村名	受診票交付数	受診者数	受診率	血色素		尿蛋白		尿糖		HTLV-I	血圧	異常なし	要指導	要精密		
				10.0以下	10.1～11.9	+	2+	3+	+						2+	3+
管内	531	613	115.4%	50	421	70	8	0	36	9	11	0	2	547	65	1
紀の川市	145	260	179.3%	25	174	26	2	0	17	5	3	0	0	239	21	0
岩出市	386	353	91.5%	25	247	44	6	0	19	4	8	0	2	308	44	1

(ウ) 乳幼児健康診査

母子保健法により、乳児期に2回、及び1歳6か月児、3歳児健康診査を実施している。

(4か月児健康診査)

市町村名	健診回数	対象者数 A	受診者数		異常なし	健康診査上注意										健康診査結果																
			実人員 B	延人員		受診率 B/A×100	発達障害 精神面	発達障害 身体面	発達障害 言語面	発達障害 その他	脳性麻痺	ひきつけ	ヘルニア	心臓疾患	開排制限	四肢異常	斜視	聴覚障害	口唇口蓋裂	斜視	視力障害	皮膚疾患	その他	小児慢性特定疾患	泌尿器疾患	その他	計	要観察	要医療	計		
管内	38	707	703	737	602	0	0	0	0	1	5	8	29	3	1	2	1	0	0	1	68	1	2	52	174	41	19	12	3	34		
紀の川市	14	300	300	300	277	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	15	21	133	91	76	3	0	1		
岩出市	24	407	403	437	325	0	0	0	1	4	5	29	3	1	2	1	0	0	1	67	1	1	37	153	160	131	112	38	19	12	2	33

(7か月児健康診査)

市町村名	健診回数	対象者数 A	受診者数		異常なし	健康診査上注意										健康診査結果																
			実人員 B	延人員		受診率 B/A×100	発達障害 精神面	発達障害 身体面	発達障害 言語面	発達障害 その他	脳性麻痺	ひきつけ	ヘルニア	心臓疾患	開排制限	四肢異常	斜視	聴覚障害	口唇口蓋裂	斜視	視力障害	皮膚疾患	その他	小児慢性特定疾患	泌尿器疾患	その他	計	要観察	要医療	計		
管内	39	700	695	695	580	0	4	0	1	1	4	1	1	1	0	3	0	1	3	54	0	2	90	166	491	184	20	12	4	5	3	12
紀の川市	15	298	298	298	262	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	4	0	1	21	32	234	61	3	5	3	1	1	5	
岩出市	24	402	397	397	318	0	2	0	1	3	1	1	1	1	0	1	0	1	2	50	0	1	69	134	257	123	17	7	1	4	2	7

(1歳6か月児健康診査)

市町村名	健診回数	対象者数 A	受診者数		異常なし	健康診査上注意										健康診査結果																				
			実人員 B	延人員		受診率 B/A×100	発達障害 精神面	発達障害 身体面	発達障害 言語面	発達障害 その他	脳性麻痺	ひきつけ	ヘルニア	心臓疾患	開排制限	四肢異常	斜視	聴覚障害	口唇口蓋裂	斜視	視力障害	皮膚疾患	その他	小児慢性特定疾患	泌尿器疾患	その他	計	要観察	要医療	計						
管内	48	760	757	757	487	62	3	7	0	12	0	5	0	1	0	0	0	0	3	1	16	1	191	303	288	2	1	291	0	0	291	11	5	4	0	9
紀の川市	24	355	343	343	138	60	2	7	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	135	210	288	2	1	291	0	0	291	9	4	3	0	7
岩出市	24	405	414	414	349	2	1	0	0	12	0	3	0	0	0	0	0	3	0	15	1	0	56	93	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	2

(3歳児健康診査)

市町村名	健診回数	対象者数 A	受診者数		異常なし	健康診査上注意										健康診査結果																					
			実人員 B	延人員		受診率 B/A×100	発達障害 精神面	発達障害 身体面	発達障害 言語面	発達障害 その他	脳性麻痺	ひきつけ	ヘルニア	心臓疾患	開排制限	四肢異常	斜視	聴覚障害	口唇口蓋裂	斜視	視力障害	皮膚疾患	その他	小児慢性特定疾患	泌尿器疾患	その他	計	要観察	要医療	計							
管内	48	822	804	804	465	66	1	2	4	0	6	0	2	3	1	13	84	6	0	17	1	3	104	313	743	13	4	760	758	1	1	760	233	45	76	13	134
紀の川市	24	382	374	374	170	57	1	2	3	0	0	1	0	0	0	13	83	4	0	0	0	0	91	255	346	0	0	346	346	0	0	346	111	15	59	13	87
岩出市	24	440	430	430	295	9	0	0	1	6	0	1	3	3	1	0	1	2	0	17	1	3	13	58	397	13	4	414	412	1	1	414	122	30	17	0	47

(1歳6か月児歯科健康診査)

市町村名	健診回数	対象者数 a	受診者数 b	受診率 b/a × 100	むし歯の総数			むし歯のない者			むし歯のある者			罹患率 c/b × 100	計 c	間食時間を めている者	清掃不良 のある者	軟組織異常 のある者	咬合異常 のある者	その他の異常 のある者
					未処置 歯	処置 歯	1人あ たりの 数	O1 型	O2 型	計	A 型	B 型	C 型							
管内	50	809	794	98.1%	9	4	13	0.0	775	16	791	3	0	0	3	676	90	43	61	4
紀の川市	26	404	380	94.1%	7	4	11	0.0	370	8	378	2	0	0	2	333	4	14	35	0
岩出市	24	405	414	#####	2	0	2	0.0	405	8	413	1	0	0	1	343	86	29	26	4

(3歳児歯科健康診査)

市町村名	健診回数	対象者数 a	受診者数 b	受診率 b/a × 100	むし歯の総数			むし歯のある者			軟組織異常のある者			計 c	その他	咬合異常 のある者	反対咬 合	開咬※	清掃不良 のある者	その 他の異常 のある者	開咬※ 拒しやぶり					
					未処置 歯	処置 歯	1人あ たりの 数	A 型	B 型	C1 型	C2 型	計 c	罹患率 c/b × 100									小 帯	軟組織異常 のある者	計		
管内	50	880	840	95.5%	237	24	261	0.3	66	16	1	1	84	10.0%	14	0	1	15	49	17	40	106	27	10	15	2
紀の川市	26	440	410	93.2%	150	18	168	0.4	41	8	1	1	51	12.4%	5	0	0	5	30	4	18	52	4	0	4	0
岩出市	24	440	430	97.7%	87	6	93	0.2	25	8	0	0	33	7.7%	9	0	1	10	19	13	22	54	23	10	11	2

## (エ) 母子衛生教育

管内	紀の川市	岩出市	思善期教室		小児肥満予防教室		両親教室		両親教室		両親教室		両親教室		両親教室		両親教室		両親教室		その他		
			回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数
55	1,563	0	0	0	12	95	0	24	182	12	58	24	818	130	2,219	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	891	0	0	0	0	0	0	0
55	1,563	0	0	12	95	0	24	182	12	58	24	818	72	1,328	0	0	0	0	0	0	0	0	0



## 16 保健師活動状況

### (1) 那賀保健師業務研究会の状況

管内の保健所及び市保健師が地域住民の保健ニーズに応えるために必要な知識を修得し、保健師相互の連携強化を図ることを目的に実施している。

(令和4年度)

開催日程	研修内容	出席者数
令和4年 9月29日(木) 13:30～ 16:30	1 講義 「思春期への関わりについて」 講師 ましまメンタルクリニック 馬島 将行 院長  2 連絡事項、その他	19人
令和5年 1月26日(木) 13:30～ 16:30	1 講義 「依存症について」 講師 岩出こころの診療所 眞城 耕志 院長  2 連絡事項、その他	19人

## (2) 看護師等保健所実習実施状況

近年、医療や福祉を取り巻く社会環境は大きく変化している。疾病構造の変化や少子・高齢化社会による在宅療養者の増加等により、看護職員の需要はますます増大し、保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供できる資質の高い看護職員が求められている。

そのため、将来、地域看護を担う看護学生等が地域看護実習を通じて、地域における看護活動の実際を学び、地域社会での看護職員の果たす役割を理解するために実習を受け入れている。

(令和4年度)

学校・養成所名	実習期間	学生数
和歌山県立高等看護学院 看護学科一部 1年生	R5. 1/30～1/31	10人
和歌山県立高等看護学院 助産学科	R5. 1/11～1/17	2人
和歌山看護専門学校 3年生 (2班)	R4. 8/30～8/31 (1班) R4. 9/1～9/2 (2班)	※中止 13人
和歌山市医師会看護専門学校 3年生	R4. 9/5～9/8	5人
県立医科大学保健看護学部 2年生	R3. 6/22～23	※中止 14人
県立医科大学保健看護学部 3年生	R4. 2/7～18	※時間を短縮 して実施 8人
県立医科大学保健看護学部 4年生	R3. 6/28～7/16	8人
東京医療保健大学 和歌山看護学部 4年生	R3. 4/26～4/30 R3. 7/26～8/13	※中止 8人 8人
合同オリエンテーション (2校)	R4. 8/19	39人
計		実人員 24人 延人員 24人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため